

情報基礎演習I(プログラミング)

第10回
6月29日
水曜5限
江草由佳

egusa-y@tsurumi-u.ac.jp
<http://amazon.slis.tsukuba.ac.jp/~yuka/lecture/2005/basic/>

1

お知らせ

- 前から4列目までの席に着席すること
- ノートパソコンを起動しておくこと
- 前回の授業資料や補足説明などは以下のWebページにあります。
 - <http://amazon.slis.tsukuba.ac.jp/~yuka/lecture/2005/basic/>
 - 先週までのところでわからないことなどがあれば適宜参照すること
- メールアドレス: egusa-y@tsurumi-u.ac.jp

2

お知らせ --これからの授業の予定--

- 6/29: 第10回
 - 第4回(最終)レポート告示
 - CHOSHAKENSAKUの最後まで
- 7/6: 休講
- 7/13: 第11回 第4回(最終)レポート締め切り
- 7/2?: 教務課にてレポート返却

3

先週のまとめ

- レポートの講評
- CHOSHAKENSAKU
 - 既存のファイル(HYOJ2)を利用
 - HYOJ2がちゃんと動くことを確認
 - Form1.vbを削除
 - HYOJ2.vbを挿入
 - CHOSHAKENSAKU.vbに名前を変更
 - Module1.vbを挿入
 - HYOJ2と同じ動作をすることを確認
 - CHOSHAKENSAKUのバックアップ
 - 画面のプロパティを変更

4

本日のおしながき

- 評価について
- 最終レポートの告示
- CHOSHAKENSAKUのつづき
 - CHOSHAKENSAKUってどんなプロジェクト?
 - GroupBox
 - プログラムの作成
 - MsgBox, ループ構造(Do While)
 - プログラムの実行・動作確認

5

評価について

- 評価
 - 同じ教科名の別のクラスとは成績のつけ方は連動していない
 - レポート、出席、授業態度などを総合して評価をつけます
 - レポートの再提出をみとめます。
 - A以外なら単位が要らないという人は出席の紙にその旨をかいておくこと

6

レポートについて

- レポートの締め切りは7/13
- レポートの再提出
 - 第2,3回のレポートの再提出を認めます。
- 第4回レポート(最終レポート)
 - CHOSHAKENSAKUプロジェクトを作成すること
- オプションレポート
 - SHOMEIKENSAKUプロジェクトを作成すること
 - オプションレポートは出さなくても成績はつけます。
 - つまりレポートが100点満点(各レポート持分が25点)だとすると、オプションレポートを出した人は125点満点になるということ。

7

第4回レポートの項目

- 表紙(科目名、タイトル、提出日、学籍番号、名前)
- CHOSHAKENSAKUの画面イメージ(最低3ページ)
 - ヒットした本が表示されている画面
 - 検索語を入力せずに検索ボタンをクリックしてエラーが表示されている画面
 - ファイルの最後まで検索して検索ボタンが押せなくなっているのがわかる画面
- CHOSHAKENSAKUのプロパティ表
- CHOSHAKENSAKUのプログラム(2つあるので注意)
 - コメントでプログラムの説明をできるだけ記入すること
 - CHOSHAKENSAKU.vb, Module1.vb
 - 行番号をつけること(印刷がむずかしいようなら、手で行番号を書いてもかまわない)
- (A4用紙、左上ホッチキス止め)

8

オプションレポートについて

- CHOSHAKENSAKUと同様に「書名の読み」を検索する「SHOMEIKENSAKUプロジェクト」を作成すること
- 以下の機能を必ず備えること
 - テキストボックスに書名の読みを入力して、検索ボタンをクリックしたら、その書名の本を表示する
 - 検索語を入力せずに検索したらエラーを表示
 - ファイルの最後まで検索してヒットしなかったら、その旨を表示し検索ボタンが押せないようになる
- ヒント
 - CHOSHAKENSAKUプロジェクトを利用すれば、ほんの数行書き換えるだけで完成する(やりかたは第8・9回の資料を参照)
 - プログラムのヒント: 39行目のIF文

9

オプションレポートの項目

- 表紙(科目名、タイトル、提出日、学籍番号、名前)
- SHOMEIKENSAKUの画面イメージ(最低3ページ)
 - ヒットした本が表示されている画面
 - 検索語を入力せずに検索ボタンをクリックしてエラーが表示されている画面
 - ファイルの最後まで検索して検索ボタンが押せなくなっているのがわかる画面
- SHOMEIKENSAKUのプロパティ表
- SHOMEIKENSAKUのプログラム(2つあるので注意)
 - コメントでプログラムの説明をできるだけ記入すること
 - SHOMEIKENSAKU.vb, Module1.vb
 - 行番号付にすること(印刷がむずかしいようなら、手で行番号を書いてもらわない)
- (A4用紙、左上ホッチキス止め)

10

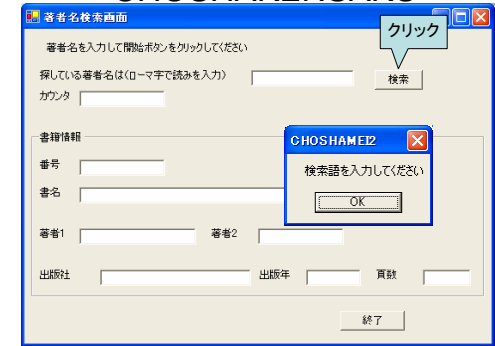
VIII

テキストファイル中の著者を 検索して表示する アプリケーションの作成

- プロジェクト名: CHOSHAKENSAKU
- この章では、ループ構造とデータファイル中の特定の文字列があった場合のみ表示する方法を習得する。

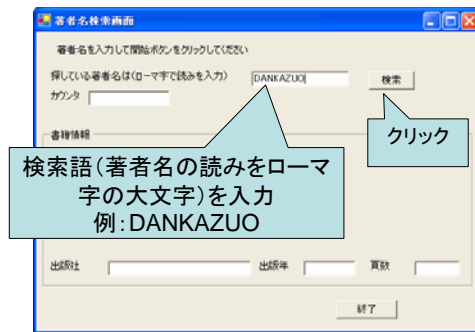
11

どんなプロジェクト?: CHOSHAKENSAKU



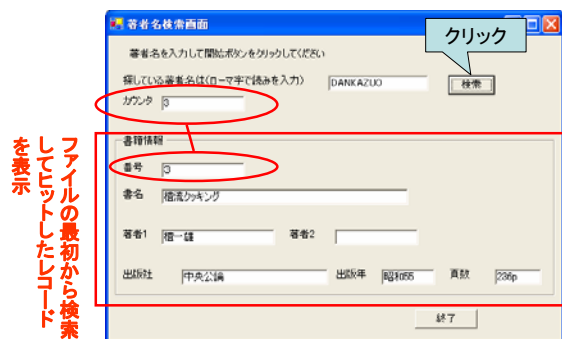
12

どんなプロジェクト?: CHOSHAKENSAKU



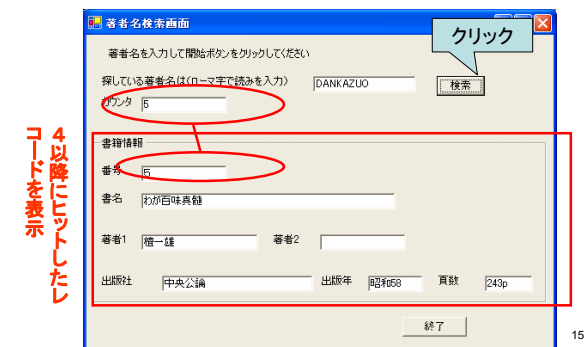
13

どんなプロジェクト?: CHOSHAKENSAKU



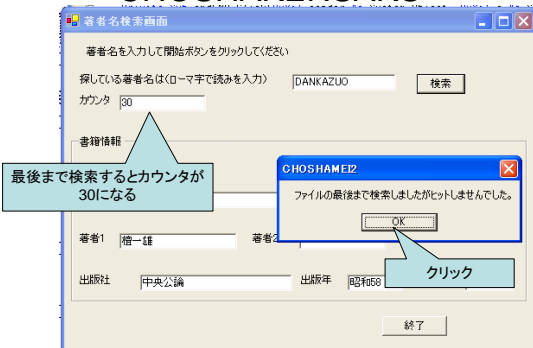
14

どんなプロジェクト?: CHOSHAKENSAKU



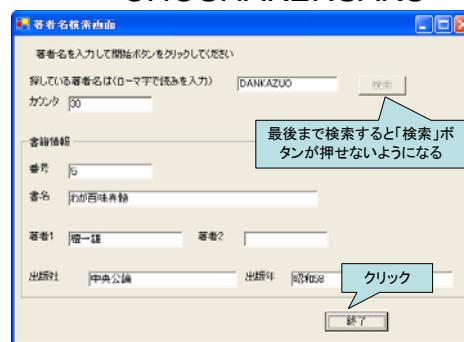
15

どんなプロジェクト?: CHOSHAKENSAKU



16

どんなプロジェクト?: CHOSHAKENSAKU



17

CHOCHAKENSAKUプロジェクト 作成の流れ

- HYOJ12の動作確認
- 新しくCHOSHAKENSAKUプロジェクトを作成
- Form1.vbを削除
- HYOJ12.vbを挿入
- CHOSHAKENSAKU.vbに名前を変更
- 確認
 - 保存・実行してみる(HYOJ12同じことを確認する)
 - 念のためバックアップを作成しておく
- 画面のプロパティの変更(HYOJ12から変更した部分を変更)
- プログラムの変更(HYOJ12から変更した部分を変更)
- 保存・実行・動作確認

今日はここから

18

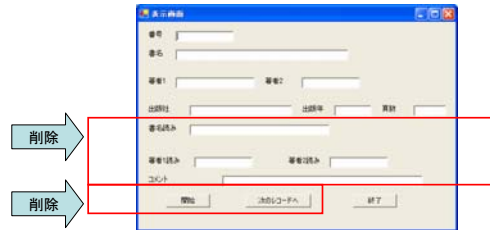
8.画面のプロパティの変更(1)

- HYOJI2プロジェクトとCHOSHAKENSAKUプロジェクトの違い
 - 書名読み、著者1読み、著者2読み、コメントのラベルとテキストボックスが減った
 - 「開始」と「次のレコードへ」のボタンが減った
 - ラベルが3、テキストボックスが2、ボタンが1、グループボックス1、増えた
 - フォームのタイトルを「著者名検索」に変更

19

8.画面のプロパティの変更(2)

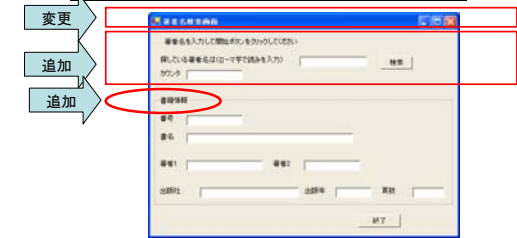
- HYOJI2プロジェクトとCHOSHAKENSAKUプロジェクトの違い
 - 書名読み、著者1読み、著者2読み、コメントのラベルとテキストボックスが減った
 - 「開始」と「次のレコードへ」のボタンが減った



20

8.画面のプロパティの変更(3)

- HYOJI2プロジェクトとCHOSHAKENSAKUプロジェクトの違い
 - ラベルが3、テキストボックスが2、ボタンが1、グループボックス1、増えた
 - フォームのタイトルを「著者名検索画面」に変更



21

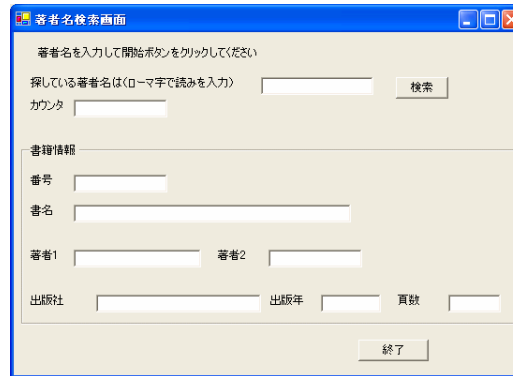
8.画面のプロパティの変更(4)

- 追加、変更するオブジェクトのみのプロパティ表

オブジェクト	プロパティ	値
Label	Name	lblSETUMEI
	Text	著者名を入力して開始ボタンをクリックしてください
Label	Name	lblKEY
	Text	探している著者名は(ローマ字で読みを入力)
TextBox	Name	txtKEY
	Text	(空欄)
Label	Name	lblCOUNTER
	Text	カウンタ
TextBox	Name	txtCOUNTER
	Text	(空欄)
Button	Name	cmdSEARCH
	Text	検索
Form	Text	著者名検索画面
GroupBox	Name	grpRECORD
	Text	書籍情報

22

8.画面のプロパティの変更(5)



23

4.バックアップをとる

- バックアップをとる必要性
 - うまくいかなかったときに、できたところまでにいつでもどれるようにするため
- CHOSHAKENSAKUフォルダをコピーし、別の名前にしておく
 - マイドキュメント>情報基礎演習を開く
 - 「スタート」→「マイドキュメント」
 - 「情報基礎演習」をダブルクリック
 - 「CHOSHAKENSAKU」を右クリックし、「コピー」をクリック
 - 右ボタンをクリックして「貼り付け」をクリック
 - 名前を「コピー～CHOSHAKENSAKU」から「CHOSHAKENSAKU_0629form」に変更する

24

CHOSHAKENSAKUプロジェクト作成の流れ(今日の分)

- プログラムの変更(HYOJI2から変更した部分を変更)
- 保存・実行・動作確認



- 1.プログラムの一部分を修正
- 2.保存
- 3.実行・動作確認
- 4.バックアップの作成
- 5.1-4を繰り返す

25

フェーズ①: 1.プログラムの一部分を修正

- Module1.vb
 - 変数の宣言を変更する
 - 14,15行目を削除する(START_SWT,NEXT_SWTを削除)
 - 16,17行目を追加する(KEYNAME,RECNOを追加)
- CHOSHAKENSAKU.vb
 - 使わないオブジェクトの記述を削除する
 - 65~67行目を削除 (読み関連のオブジェクトの記述を削除)
 - 70~86行目を削除 (開始ボタンのSubプロシージャを削除)
 - 89~102行目を削除 (次へのボタンのSubプロシージャを削除)
 - プロジェクトを実行したら実行するSubプロシージャ(Form1_Load)を書く
 - フォームの何も無いところをダブルクリック
 - 8~12行目(プログラム2)を書く

26

フェーズ①: 2.保存・3.動作確認

- 保存
- CHOSHAKENSAKUが実行できることを確認
 - エラーがでずに実行できることを確認
 - 一部分がちゃんと動くことを確認する
 - 実行
 - エラーが出ずに起動する
 - ファイルオープンがちゃんとできているかどうか分かる
 - 終了ボタンをクリックする
 - 終了する
 - ここまでで、一区切りになる

27

フェーズ①:4.バックアップをとる

- バックアップをとる必要性
 - うまくいかなくなったときに、できたところまでにいつでももどれるようにするため
- CHOCHAKENSAKUフォルダをコピーし、別の名前にしておく
 - マイドキュメント¥情報基礎演習Iを開く
 - 「スタート」→「マイドキュメント」
 - 「情報基礎演習I」をダブルクリック
 - 「CHOCHAKENSAKU」を右クリックし、「コピー」をクリック
 - 右ボタンをクリックして「貼り付け」をクリック
 - 名前を「コピー～CHOSHAKENSAKU」から「CHOSHAKENSAKU_0629form2」に変更する

28

フェーズ②:1.プログラムの一部分を修正

- CHOSHAKENSAKU.vb
 - 「検索」ボタンをクリックしたら実行するSubプロシージャ(cmdSEARCH_Click)を書く
 1. 「検索」ボタンをダブルクリック
 2. 以下のプログラムを書く
 - A) 検索語が入力されていなかった場合の処理
 - 23～28行目を追加する
 - B) キーボードから入力された検索語の代入
 - 29～31行目を追加する
 - C) ファイルのおわりまで検索する処理
 - 32～45行目を追加する
 - D) ファイルの最後まで検索してもなかった場合の処理
 - 46～53行目を追加する

29

フェーズ②:2.保存・3.動作確認

- 保存
- CHOSHAKENSAKUが実行できることを確認
 - エラーがずに実行できることを確認
 - ちゃんと動くことを確認する
 - 実行
 - 「検索」のボタンをクリックする→「検索語を入力してください」が表示される
 - 著者名読みをローマ字で入力する(Tosho.txt中にヒットするものを入れること、例:YOSHIDAKENICHI)
 - 「検索」ボタンをクリックする→検索結果が表示される
 - 「検索」ボタンをクリックする→「検索」ボタンが押せなくなって、「ファイルの最後まで…」が表示される
 - 「終了」をクリックする

30

本日のまとめ

- 評価について
- 最終レポートの告示
- CHOSHAKENSAKUのつづき
 - CHOSHAKENSAKUってどんなプロジェクト？
 - プロパティ設定(先週の補足+アルファ)
 - GroupBox
 - プログラムの作成
 - MsgBox, ループ構造(Do While)
 - プログラムの実行・動作確認

31